



医療 NPO 法人や医学部附属病院の協力で行われる病理診断講座。



Google 社で行われたテックキャンプ（3日間のプログラミングキャンプ）。



宇宙天文合宿では星空観察と国立天文台など専門家の講義が行われる。

——そうしたプログラムに対す  
る生徒たちの反応はいかがですか。  
トップレベルで活躍している  
方々との出会いが大きな刺激にな  
り、自分の未来の姿を深く考える  
良いきっかけになつてているようで  
す。5年間でさまざまな分野の講  
演を聞きますから、視野が広がり、  
興味のある分野が変化する生徒も  
出てきます。それに対応するため

仕事をしたいのか、明確な動機づけが重要になります。そこで、「研究室訪問ツアー」「つくばサイエンスツアー」「宇宙天文宿舎」「DNA鑑定講座」「司法裁判講座」など、充実したキャリア教育・中高大連携プログラムを設けています。

その集大成と位置づけているのが、毎年度末に開催する「広学スーパーアカデミー—最先端と最前線の超一級講座」です。中1から高2を対象に、さまざまな分野で活躍している第一線の方々約20名を招聘し、最先端の研究内容が語られます。昨年度は脳科学者、生物時計研究者、臨床獣医師、自然写真家、昆虫学者、科学環境部記者などの講演が行われました。



# その教育は 本当に生徒のためか?

# 進化する学園の原動力とは

2007年度の共学化以降の10年間で、都内有数の人気校へと飛躍を遂げた広尾学園。医学部をはじめとする難関大学や、海外大学の進学実績も目覚ましいが、何よりも注目を集めているのが、さまざまな画期的な教育プログラムだ。同校の教育の特色と、今後の方向性などについて、池田富一理事長に聞いた。

広尾学園中学校・高等学校  
理事長

池田 富一 先生

**Tomikazu Ikeda**  
大学院でホスピタリティビジネスを研究。外資系企業でブランド・マネージャー、マーケティング・マネージャーを歴任。2006年に教育界に転身し、広尾学園の学校経営に参画。教職員との対話を重視しながら、経営の中核として学園躍進への道を切り拓いた。現在、広尾学園の理事長を務める傍ら、客員教授としてマーケティングの講義も担当している。

世界40カ国から集まる生徒たち  
多様な「夢」に教職員一丸で応える  
――この10年で志願者数が急増していますが、どのような教育内容が評価されていると思われますか。  
本校の教職員には「生徒の成長を第一に考える」という意識が浸透しています。生徒のためにどんな教育が望ましいのか、常に考え、情報を共有し、一致団結して取り組んでいます。当然のことながら、すべての生徒に合った教育は存在しません。生徒一人ひとり個性、志向が異なるからです。  
特に本校では、小学校までの滞在経験者が40カ国に及ぶなど、多

学技術系学部志望者のための「医進・サイエンスコース」、海外大学進学も視野に入れて、グローバルな感覚を養う「インターナショナルコース」の3コースを設けています。ただし、中高時代の生徒は、学んでいく中で将来の夢が変化するケースも少なくあります。それに応じるために、コース間の垣根を低くして、高校に進む段階などでコース変更も可能にしていてください。

——「本科コース」の特色を教えます。



高度な教科指導力を持ち、ハイレベルな授業を展開する専任の外国人教師が 21 名在籍

最終的には国内の難関大学に進学するケースもあるのですが、海外大  
学も選択肢の一つとして、自分の進路を考えることは、とても貴重な経験になると思っています。そうした生徒のために、学園自体がSATの試験会場であったり、生徒が興味を持っている分野の企業のインターンシップや海外でのボランティア活動などを教員が積極的にサポートしています。こうしたバックアップが可能なのも、21名の外国人教員を擁する本校の強みだと考えています。

――海外大学に関する情報提供

教員が海外で行われる大学フェアに積極的に参加しています。学内に海外大学の入試担当者を招い

らです。そこで、中学校低学年から、校外施設の富士見スコレーカ宿や、林間学校などの行事を用意しており、6年間でたくましく成長しています。

――過去3年間の医学部合格者が6名→21名→38名と急増しております、「医進・サイエンスコース」の教育が注目を集めています。

私たちは単に医学部合格者を増やすべきとは思っていません。医学部入学後、さらには医師になつてからを見据えて、「なぜ医師になりたいのか」明確な目的意識を育む教育に力を入れています。

学技術系学部志願者のための「医進・サイエンスコース」、海外大学進学も視野に入れて、グローバルな感覚を養う「インターナショナルコース」の3コースを設けています。ただし、中高時代の生徒は、学んでいく中で将来の夢が変化するケースも少なくありません。それに対応するために、コース間の垣根を低くして、高校に進む段階などでコース変更も可能にしていてください。

——「本科コース」の特色を教えてください。



MITの講義動画に日本語訳を付けて公開する活動は 2016 年度 e-ラーニングアワードで文科大臣賞を受賞。7 名のインターン生徒チームから始まった活動は下級生に引き継がれ、医サイ有志生徒たちは UCI の講義動画の翻訳に取り組んでいます。

いはとの教育環境を整えてあります。たとえばサイエンスラボは大学の研究室並みの実験装置があります。ＩＣＴルームには3Dプリントやレーザーカッターなどを備えており、ＩＣＴが得意な生徒が他の生徒に教える「学び合い」の場としても機能しています。英語力の向上をめざして、たくさんの外国人教員に積極的に話しかける姿もよく目にします。そうしたハイレベルな教育環境をフルに活用して、わくわくしながら、自分の興味のある分野をとことん追求するものが、広尾学園生の気質の特徴です。そうした知的好奇心とチャレンジ精神にあふれる生徒の入学を期待しています。

て、独自の説明会も開催しています。例年、アメリカ約50大学、ヨーロッパ10～20大学の関係者が来校しています。また、海外大学を希望する生徒たちのために、アメリカのカリフォルニアにあるUCLAやCaltechといった8大学のツアーやボストンにあるハーバードやMITなど11大学のツアーを実施しています。現地では大学の入試担当者や、実際学んでいる本校卒業生たちの声を聴くことが出来ます。

す。現役医師を招いて、講演会も豊富に開催していますが、その際、医師の恵まれた面だけでなく、拘束時間が長く、常にプレッシャーにさらされることなど、厳しい面も話していたらしく、お願いしています。リアルな医師像を知った上で、それでも医師をめざしたくという強固な意思を固めることができ、医学部志望者にとって不可欠なのです。

す。そのために展開しているのが「本物に触れる」教育です。大阪医科大学と連携して、地域医療の現場を実体験する「地域医療体験研修」、順天堂大学の協力を得て、がん患者の検体を調べ、カンファレンス形式で発表する「病理診断セミナー」などを実施しています。



●男子制服が決定



シングルジャケットとグレーベースにサックスのストライプ柄のスマートなスラックスで、シャープさを表現。ネクタイ、スラックスは替えのデザインがあり、シャツも3色バリエーションも豊富



上】世界の名門校が集うラウンドスクエアに、2017年度より加盟。  
下】月に1度、文化体験の日を設け、さまざまな文化に触れる。

一人一役を演じる英語劇

UCSBでの授業

アメリカ海外研修

イングリッシュファンフェア



八雲学園中学校高等学校  
理事長・校長

近藤 彰郎 先生

Akio Kondo

1947年1月生まれ。1969年3月慶應義塾大学法学部法律学科卒業。1978年4月より八雲学園高等学校教諭。1995年4月より学校法人八雲学園理事長・八雲学園中学校校長兼任。1996年4月より八雲学園中学校校長兼任。現在に至る。

来年4月、共学校として新たなスタート  
グローバルリーダーの育成に力を注ぐ

来年、創立80周年を迎える八雲学園。それを機に、女子校から共学校に衣替えし、新たなスタートを切ることになった。同校はグローバルリーダーを育成する教育が高く評価されているが、男子生徒を迎えることによって、教育はどのように進化していくのか。近藤彰郎校長に聞いた。

**ナイト（騎士）の精神を持つ男子を育てる人間教育**  
——まず共学化の目的からお聞かせください。

八雲学園は来年、創立80周年の節目を迎えます。その間、一貫して時代の要請に応える教育をめざしてきました。創立者の近藤敏男はアメリカで事業を展開した人物であり、自らの経験を通して、日米で女性の地位にあまりにも格差があると衝撃を受けたことが、教育の世界に飛び込むきっかけになりました。

当時の日本は、まだ女性に参政権も与えられていなかった時代です。そこで、創立者は女子校を設立し、80年の伝統の中で、社会で活躍する女子の育成に大きな役割を果たしてきましたと自負しています。けれども、時代は移り、男女平等、男女同権の意識が高まり、今後はますます男女が共同参画する社会になつていくでしょう。そうした社会の変化に対応するためには、教育の場も変わらなければなりません。早い段階から異性と交流し、相互理解を深められる教育環境が重要になると考めたのです。

——長らく女子教育に携わってこられたことが、男子の教育にも効果を發揮する部分はありますか。

私は、女子教育の立場から、男子教育はこのままいいのかという課題を感じていました。近年、信じられないような残虐な事件が相次いでいるからです。本校の「生命主

日はケニアの学校の生徒が本校を訪れました。近い将来、「八雲レジデンス」に数カ国の加盟校の生徒を招くプログラムも企画したいと考えています。さまざまな国の生徒と語り合う中で、世界各地でどのような問題が発生しているのかを知り、その問題にどう向き合っていくのか、海外の生徒の意見を聞くことが、グローバルスタンダードの考え方を学ぶ貴重な機会になっています。

——高校1年次には3ヶ月間の語学留学プログラムも設けられています。

参加が決まった生徒には3ヶ月間の事前学習を実施し、英語科教員とネイティブ教員が徹底的に英語力を強化します。その上で、現地校では50分×250時間、英語の授業だけを受講し、最終的にライティングエッセイまで進みます。このプログラムは単に海外の学びを体験したといったレベルに終わらせるつもりはなく、きわめてハードな学習内容が課されるわけです。実際、参加した生徒の4技能の向上には目を見張るものがあります。帰国後、3ヶ月間の事後学習を実施しますが、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の評価を評価する国際指標でB2レベルをクリアし、さらに入試のC1レベルをめざして頑張っている生徒もいます。

——語学留学プログラムに参加した生徒はどのように成長している

参考までに、海外で語学留学する際の事前学習を実施し、英語科教員とネイティブ教員が徹底的に英語力を強化します。その上で、現地校では50分×250時間、英語の授業だけを受講し、最終的にライティングエッセイまで進みます。このプログラムは単に海外の学びを体験したといったレベルに終わらせるつもりはなく、きわめてハードな学習内容が課されるわけです。実際、参加した生徒の4技能の向上には目を見張るものがあります。帰国後、3ヶ月間の事後学習を実施しますが、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の評価を評価する国際指標でB2レベルをクリアし、さらに入試のC1レベルをめざして頑張っている生徒もいます。

——語学留学プログラムに参加した生徒はどのように成長している

参考までに、海外で語学留学する際の事前学習を実施し、英語科教員とネイティブ教員が徹底的に英語力を強化します。その上で、現地校では50分×250時間、英語の授業だけを受講し、最終的にライティングエッセイまで進みます。このプログラムは単に海外の学びを体験したといったレベルに終わらせるつもりはなく、きわめてハードな学習内容が課されるわけです。実際、参加した生徒の4技能の向上には目を見張るものがあります。帰国後、3ヶ月間の事後学習を実施しますが、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の評価を評価する国際指標でB2レベルをクリアし、さらに入試のC1レベルをめざして頑張っている生徒もいます。

——語学留学プログラムに参加した生徒はどのように成長している

参考までに、海外で語学留学する際の事前学習を実施し、英語科教員とネイティブ教員が徹底的に英語力を強化します。その上で、現地校では50分×250時間、英語の授業だけを受講し、最終的にライティングエッセイまで進みます。このプログラムは単に海外の学びを体験したといったレベルに終わらせるつもりはなく、きわめてハードな学習内容が課されるわけです。実際、参加した生徒の4技能の向上には目を見張るものがあります。帰国後、3ヶ月間の事後学習を実施しますが、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の評価を評価する国際指標でB2レベルをクリアし、さらに入試のC1レベルをめざして頑張っている生徒もいます。

——語学留学プログラムに参加した生徒はどのように成長している

参考までに、海外で語学留学する際の事前学習を実施し、英語科教員とネイティブ教員が徹底的に英語力を強化します。その上で、現地校では50分×250時間、英語の授業だけを受講し、最終的にライティングエッセイまで進みます。このプログラムは単に海外の学びを体験したといったレベルに終わらせるつもりはなく、きわめてハードな学習内容が課されるわけです。実際、参加した生徒の4技能の向上には目を見張るものがあります。帰国後、3ヶ月間の事後学習を実施しますが、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）の評価を評価する国際指標でB2レベルをクリアし、さらに入試のC1レベルをめざして頑張っている生徒もいます。

——語学留学プログラムに参加した生徒はどのように成長している

### 日本人のアイデンティティを確立する「文化体験の日」

——英語教育について予定されています。

日本で教わる英語は、文法的には正しいけれども、現実にはこんな使い方はしないというケースがあります。ちょっと気の利いた言い回しも含めて、実際に海外で通用する英語表現を身につけることが大切です。そこで、来



春休みに実施されるカリフォルニア大学デービス校(UCD)への短期留学。「英語とキャリア教育」を中心に学び、英語でのプレゼン力も鍛える。

ローバル社会で必要なものもある。要とされる資質そのものもある。

「本物に触れる」教育で  
知的好奇心を喚起する

が、知  
する。

ラムだけでなく、知的好奇心をもたらす  
刺激するイベントが数多く催されており、  
その数は年間120にも及ぶ。  
(2016年度)。



周辺は緑豊かな自然が多くあり、植物観察などに絶好の体験学習環境である。成蹊では本物に触れ、科学的探究心を育む教育を大切にしている。

互いの個性を認め合いながら  
時代を拓く新しい価値を創造する

# 互いの個性を認め合いながら 時代を拓く新しい価値を創造

さまざまな体験を通して、  
考え方を深め、価値観を築く

観を持つ仲間が、お互いを認め合  
いながら切磋琢磨していく。多  
様性がもたらす化学反応が子ど  
もたちの成長を促し、新しいも  
のを創り出す原動力になります」  
と跡部先生は語る。

A portrait photograph of Dr. Yoko Kuroda, a woman with dark hair, wearing a white blazer over a dark top.

成蹊中学・高等学校  
校長  
**跡部 清** 先生  
*Sayaka Atobe*  
2015年校長就任。  
自身も成蹊中学・高等学  
卒業生である。

的好奇心の育成を意識した、『木物に触れる』教育だ。たとえば、

「生徒自身が企画するイベン  
トが多く、中1生が『この国際  
問題をディベートの題材として  
扱ってほしい』とテーマを提案  
したり、留学から帰国した生徒  
が自身の経験を踏まえ、来日す  
る留学生をサポートする企画書  
を提出したりします。生徒た  
ちの可能性は無限大です。何  
かやりたいと思ったときに、そ  
の背中をそつと押してあげるの  
が私たちの務めだと考えていま  
す」と跡部先生は話す。

学力向上を基本としながらも  
個性を重視し、自分の考えや興  
味あるものを追求し、コミュニケーション力を含めた共生力を養う。同校が育てようとしている力は、大学入試改革で新たに評価しようとしている力と重なる部分が多いのではないだろうか。

なお、2018年度より中学校  
入試第1回目の募集人数が変更  
され、これまでの男子50名・女  
子35名から男子45名・女子40名  
となる（第2回目については変  
更なし）。同校の教育方針に関心  
を持つ人は、この点も併せて留  
意しておきたい。

理科は中学から生物、化学、物理、地学と4科目に分かれ、専門の教師が各科目を担当する。敷地内の自然豊かな環境を生かして生き物や植物を観察したり、実験を行ったり、それについてレポートを書いたりする。また、他教科においても自ら調べたり、討論したりする機会を多く設け、興味・関心を引き出す種まきを行なう。さらに、さまざまな分野の第一線で活躍している卒業生を招いて交流の場を提供し、知的好奇心を刺激する。

「本物に触れることで、生徒たちの興味や関心が広がっていく様子が手に取るようにわかります。過酷な環境で生き抜くクマムシを研究する生徒や、イワナの体表の斑点の大きさと環境との関連を調べて論文を書く生徒など、中高生を問わず、小さな研究者が次々出てきてワクワクします」と跡部先生は顔をほころばせる。

一方、中3生が大学のゼミ・研究室を体験する「中3ゼミ」をはじめ、成蹊大学と連携したプ

P16\_広告

—新たに「総学校長室」を設置されたと伺いました。  
はい。東京・世田谷の第一高

併設校の連携を強化し  
教育の質をさらに高める

しつつ、総学校長室を核に連携を深め、教育の質を高めていくたいと考えています。  
そのためにはまず、各教員のレベルアップが必要です。めまぐるしく社会が変化している時

問題点をしっかりと受け止め  
主張的に考える力を伸ばす  
—理科教育にも注力されていて、理科嫌いの生徒はほぼゼロに近いそうですね。

—最後に、受験生に向けてメッセージをお願いします。  
東京農大の初代学長 横井時敬先生は、農学を通して地域の発展に寄与する人材の育成をめざしました。そして「稻のこと



東京農業大学の施設である「食品加工技術センター」にて実施された、味噌の製造実習。  
大学の施設・知財を活用できるのも併設中学校の魅力の一つだ。

等学校・中等部に加え、群馬・高崎の第二高等

学校・埼玉・東松山の第三高等

学校・附属中学

校を統括する部

門として、今春

発足しました。

各校は、それぞれ

地域社会のニーズを反映し

た校風で知られていますが、そ

の特色を大切に

していまます。

そのためにはまず、各教員の

レベルアップが必要です。めまぐるしく社会が変化している時

そのためにはまず、各教員の

レベルアップが必要です。めま

ぐるしく社会が変化している時



文化学園大学杉並中学・高等学校  
校長  
**松谷 茂 先生**  
*Shigeru Matsutani*  
1953年生まれ。1975年、東京学芸大学教育学部卒業。2011年、文化学園大学杉並中学・高等学校校長就任。現在に至る。



**カナダと日本の高校の卒業資格が取得できる**  
—全国で初めて、カナダと日本のダブルディプロマコースを導入されました。  
2015年度に、カナダのブリティッシュコロンビア(BC)州の教育プログラムの下で学び、カナダと日本両方の高校卒業資格が取得できる「ダブルディプロマコース」を高校に設

果を挙げています。  
—中学校でも新たなカリキュラムをスタートされたそうですね。  
ダブルディプロマのノウハウを活用し、中学の英語の授業

なりました。BC州の先生によるアクティブラーニングでは、グローバル化した社会で求められる「批判的思考力」「課題発見解決能力」「創造力」を育成。私は今後も自分で考えて行動する力、発信する力を身につけてほしいと願っています。  
—ダブルディ

## ダブルディプロマの成果掲げ 来春から中高ともに共学化

### ダブルディプロマコース1期生、ICUに3名合格

2015年度にカナダと日本の高校卒業資格を同時に取得できるダブルディプロマプログラムを導入し、その成果を挙げている文化学園大学杉並中学・高等学校。来春からの共学化にも注目が集まる同校の教育内容について、松谷茂校長に伺った。

けました。BC州の教育は世界でも高く評価されていますが、私たちが考えていた以上に優れました。基本的には、生徒が主体的に考え、調べ、友だちと話し合いながら自分の意見をまとめて発表するアクティブラーニングが中心です。生徒たちは生き生きと学び、圧倒的に伸びています。

果がありましたか。  
たとえば、英語の学力は全国模試での偏差値平均が70以上という自覚正しい成長を見せていました。ダブルディプロマ1期生は現在、高3になりましたが、13名のうち、英検1級レベルを3名、準1級レベルを9名、残り1名が2級を取得。先日行われたICUの入試でも、受験した3名全員が合格するなど、すでに大きな成果を挙げています。

化にも注目が集まっています。世界標準の教育を男子にも提供したいという思いから共学化を決意しました。中学校には、新たに「ダブルディプロマ準備コース」を設けます。高校のダブルディプロマの授業は通常より多少費用がかかりますが、中学のこのコースは無償です。

カナダから派遣されているダン・マイルズ校長は、失敗も間違いも常にOKという考え方を持っており、ダブルディプロマではこうした心の持ち方も学んでいます。生徒には今後も自分で考

えて行動する力、発信する力を身につけてほしいと願っています。

—ダブルディ

P20\_広告



BC州の先生によるアクティブラーニングでは、グローバル化した社会で求められる「批判的思考力」「課題発見解決能力」「創造力」を育成。



表 4\_広告